

2021～2030年度の連系線の運用容量 (年間・長期)

2021年2月12日

1. 2021年度の連系線の運用容量
2. 2022年度の連系線の運用容量
3. 特殊日の運用容量
4. 2023～2030年度の連系線の運用容量（長期）
5. 全国系統の運用容量（2021年度 8月平日昼間帯）

1. (1) 2021年度の連系線の運用容量 (平日：昼間帯)

(万kW) 3

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)	236(④) 【34(④)】	236(④) 【118(④)】	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)
	東京向	510(④) 【440(④)】	530(②) 【425(④)】	530(②) 【345(④)】	550(②)	605(④)	555(④) 【555(④)】	490(②) 【430(②)】	540(④) 【380(④)】	540(④) 【465(④)】	【570(②)】	【585(④)】	540(④) 【545(④)】
東京中部間連系設備	東京向	210(④) 【150(③)】	210(④) 【180(④)】	210(④) 【180(④)】	210(④)	210(④)	210(④)	210(④) 【180(④)】	210(④) 【120(④)】	210(④) 【180(④)】	210(④) 【180(④)】	【180(④)】	【180(④)】
	中部向	210(④) 【180(④)】	210(④) 【180(④)】	210(④) 【180(④)】	210(④)	210(④)	210(④)	210(④) 【180(④)】	210(④) 【120(④)】	210(④) 【172(④)】	210(④) 【180(④)】	【180(④)】	【180(④)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	62(④) 【0(①)】	60(④)	75(④)	104(④)	115(④)	前半100(④) 後半87(④)	75(④)	前半84(④) 後半89(④)	107(④)	113(④)	95(④)	前半81(④) 後半74(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	130(④) 【130(④)】	130(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	【150(④)】	130(④) 【130(④)】	【130(④)】	160(④) 【160(④)】	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	186(④) 【168(④)】	185(④)	190(②)	190(②)	190(②) 【210(②)】	前半【210(②)】 後半【204(④)】	190(②) 【184(④)】	前半【201(④)】 後半【209(④)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	130(④) 【0(①)】	130(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	【0(①)】	130(④) 【0(①)】	【0(①)】	160(④) 【0(①)】	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	186(④) 【0(①)】	185(④)	190(②)	190(②)	190(②) 【0(①)】	【0(①)】	190(②) 【0(①)】	【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	410(③) 【380(③)】	410(③)	420(③) 【278(①)】	425(③) 【329(①)】	425(③)	前半425(③) 【329(①)】 後半430(③) 【329(①)】	430(③) 【329(①)】	430(③)	420(③)	420(③)	420(③)	前半420(③) 【405(③)】 後半430(③) 【395(③)】
	中国向	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)	278(④)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線 ^{注1)}	中国向	120(④) 【120(④)】	120(④) 【120(④)】	120(④) 【120(④)】	120(④)	120(④)	120(④)	120(④)	120(④) 【120(④)】	120(④)	120(④)	120(④)	120(④) 【120(④)】
	四国向	120(④) 【119(④)】	120(④) 【19(④)】	120(④) 【35(④)】	120(④)	120(④)	前半120(④) 後半120(④)	120(④)	前半120(④) 【120(④)】 後半120(④) 【120(④)】	120(④)	120(④)	120(④)	前半120(④) 【120(④)】 後半120(④) 【120(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	224(④) 【224(④)】	171(④) 【226(④)】	231(④)	252(④)	241(④)	前半240(④) 後半232(④)	223(④)	前半231(④) 後半244(④)	254(④)	279(④)	263(④)	前半250(④) 【250(④)】 後半235(④)
	九州向	8(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	8(④)	19(④)	23(④)	前半18(④) 後半15(④)	6(④)	前半10(④) 後半12(④)	19(④)	21(④)	15(④)	前半9(④) 【0(④)】 後半7(④)

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (2) 2021年度の連系線の運用容量 (平日：夜間帯)

(万kW)

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(①)]	90(①) [30(①)]	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(①)]	90(①) [30(①)]	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) [118(①)]	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	500(①) [430(①)]	505(②) [430(①)]	540(①) [340(①)]	520(②)	565(④)	520(②) [510(①)]	460(②) [410(②)]	530(①) [360(①)]	515(②) [445(②)]	[525(④)]	[530(①)]	530(①) [530(①)]
東京中部間連系設備	東京向	210(①) [150(③)]	210(①) [180(①)]	210(①) [180(①)]	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) [180(①)]	210(①) [120(①)]	210(①) [180(①)]	210(①) [180(①)]	[180(①)]	[180(①)]
	中部向	210(①) [180(①)]	210(①) [180(①)]	210(①) [180(①)]	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) [180(①)]	210(①) [120(①)]	210(①) [172(①)]	210(①) [180(①)]	[180(①)]	[180(①)]
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④) [0(①)]	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	90(④) [0(①)]	85(④)	86(④)	109(④)	110(④)	前半107(④) 後半98(④)	96(④)	前半102(④) 後半110(④)	115(④)	133(④)	128(④)	前半117(④) 後半106(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) [70(④)]	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) [80(④)]	[80(④)]	70(④) [70(④)]	[70(④)]	90(④) [90(④)]	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②) [210(②)]	190(②)	190(②)	190(②)	190(②) [210(②)]	前半[210(②)] 後半[210(②)]	190(②) [210(②)]	前半[210(②)] 後半[210(②)]	190(②) [210(②)]	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①) [0(①)]	[0(①)]	30(①) [0(①)]	[0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①) [0(①)]	[0(①)]	30(①) [0(①)]	[0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) [0(①)]	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) [0(①)]	[0(①)]	70(④) [0(①)]	[0(①)]	90(④) [0(①)]	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②) [0(①)]	190(②)	190(②)	190(②)	190(②) [0(①)]	[0(①)]	190(②) [0(①)]	[0(①)]	190(②) [0(①)]	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	410(③) [380(③)]	410(③)	420(③) [278(①)]	425(③)	425(③)	前半425(③) [329(①)] 後半430(③) [329(①)]	430(③) [329(①)]	430(③)	420(③)	420(③)	420(③)	前半420(③) [405(③)] 後半430(③) [395(③)]
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) [70(①)]	140(①) [0(①)]	140(①) [0(①)]	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) [70(①)]	140(①) [0(①)]	140(①) [0(①)]	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線 ^{注1)}	中国向	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) [120(①)]
	四国向	120(①) [120(①)]	120(①) [53(④)]	120(①) [59(④)]	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) [120(①)] 後半120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) [120(①)] 後半120(①) [120(①)]
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	198(④) [198(④)]	164(④) [194(④)]	194(④)	211(④)	199(④)	前半206(④) 後半196(④)	193(④)	前半201(④) 後半208(④)	216(④)	240(④)	237(④)	前半221(④) 後半207(④)
	九州向	27(④) [17(④)]	20(④) [10(④)]	21(④)	31(④)	32(④)	前半32(④) 後半27(④)	28(④)	前半35(④) 後半38(④)	40(④)	43(④)	41(④)	前半36(④) 後半31(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (3) 2021年度の連系線の運用容量 (休日：昼間帯)

(万kW)

5

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	525(①) 【435(①)】	530(②) 【425(①)】	540(②) 【365(①)】	570(②)	605(①)	555(①) 【555(①)】	490(②)	540(①) 【380(①)】	540(①) 【465(①)】	【475(②)】	【585(①)】	540(①) 【545(①)】
東京中部間連系設備	東京向	210(①) 【150(③)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
	中部向	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①) 【165(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	35(④)	36(④)	45(④)	74(④)	81(④)	前半67(④) 後半57(④)	46(④)	前半59(④) 後半64(④)	80(④)	84(④)	72(④)	前半58(④) 後半52(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【80(④)】	70(④) 【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	139(④) 【121(④)】	141(④)	157(④)	190(②)	190(②) 【189(④)】	前半【175(④)】 後半【158(④)】	159(④) 【144(④)】	前半【161(④)】 後半【165(④)】	190(②) 【188(④)】	190(②)	190(②)	前半173(④) 後半164(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(③)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(③)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(③)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(③)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	70(④) 【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	139(④) 【0(①)】	141(④)	157(④)	190(②)	190(②) 【0(①)】	【0(①)】	159(④) 【0(①)】	【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半173(④) 後半164(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	410(③) 【385(③)】	410(③)	420(③)	425(③)	425(③)	前半425(③) 【329(①)】 後半430(③) 【329(①)】	430(③) 【329(①)】	430(③)	420(③)	420(③)	420(③)	前半420(③) 【405(③)】 後半430(③) 【395(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線 ^{注1)}	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【110(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	180(④) 【180(④)】	162(④) 【175(④)】	184(④)	208(④)	212(④)	前半205(④) 後半194(④)	184(④)	前半195(④) 後半206(④)	208(④)	219(④)	221(④)	前半210(④) 後半199(④)
	九州向	1(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	0(④)	11(④)	13(④)	前半8(④) 後半7(④)	0(④)	前半5(④) 後半6(④)	9(④)	14(④)	8(④)	前半3(④) 後半1(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (4) 2021年度の連系線の運用容量 (休日：夜間帯)

(万kW)

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(②)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	515(①) 【425(①)】	505(②) 【430(①)】	540(①)	530(①)	565(①)	520(②) 【520(②)】	460(②)	530(①) 【360(③)】	520(②) 【450(①)】	【435(②)】	【530(①)】	530(①) 【530(①)】
東京中部間連系設備	東京向	210(①) 【150(③)】	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(③)】	210(①) 【165(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
	中部向	210(①)	210(①)	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①)	210(①) 【180(③)】	210(①) 【165(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①) 【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	63(④)	57(④)	61(④)	81(④)	82(④)	前半82(④) 後半78(④)	74(④)	前半90(④) 後半100(④)	106(④)	121(④)	119(④)	前半100(④) 後半90(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【80(④)】	70(④) 【70(④)】	【70(④)】	90(④) 【90(④)】	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	177(④) 【171(④)】	170(④)	175(④)	190(②)	190(②) 【199(④)】	前半【198(④)】 後半【191(④)】	190(②) 【186(④)】	前半【206(④)】 後半【210(②)】	190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	70(④) 【0(①)】	【0(①)】	90(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	177(④) 【0(①)】	170(④)	175(④)	190(②)	190(②) 【0(①)】	【0(①)】	190(②) 【0(①)】	【0(①)】	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	410(③) 【385(③)】	410(③)	420(③)	425(③)	425(③)	前半425(③) 【329(①)】 後半430(③) 【329(①)】	430(③) 【329(①)】	430(③)	420(③)	420(③)	420(③)	前半420(③) 【405(③)】 後半430(③) 【395(③)】
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①) 【70(①)】	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線 ^{注1)}	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(③)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(③)】 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	172(④) 【172(④)】	160(④) 【165(④)】	172(④)	186(④)	186(④)	前半184(④) 後半176(④)	169(④)	前半179(④) 後半190(④)	201(④)	210(④)	217(④)	前半203(④) 後半193(④)
	九州向	20(④) 【12(④)】	14(④) 【5(④)】	16(④)	24(④)	25(④)	前半24(④) 後半23(④)	22(④)	前半29(④) 後半32(④)	36(④)	41(④)	37(④)	前半30(④) 後半26(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (1) 2022年度の連系線の運用容量 (平日：昼間帯)

(万kW)

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①) 【85(③)】	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【118(④)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	535(①) 【445(②)】	505(②) 【500(①)】	555(①) 【555(①)】	【590(①)】	575(①) 【605(②)】	555(①) 【430(①)】	465(②) 【385(②)】	460(②) 【355(①)】	【475(②)】	【475(②)】	【475(②)】	495(②) 【355(②)】
東京中部間連系設備	東京向	【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【120(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(③)】
	中部向	【180(①)】	210(①) 【120(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①)	210(①) 【120(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④) 【0(①)】	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	63(④)	61(④) 【0(①)】	76(④)	105(④)	116(④)	前半100(④) 後半87(④) 【0(①)】	75(④) 【0(①)】	前半85(④) 後半89(④) 【0(①)】	108(④)	113(④)	96(④)	前半82(④) 後半75(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	130(④)	130(④) 【130(④)】	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	【130(④)】	130(④) 【130(④)】	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	187(④)	186(④) 【168(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【205(④)】	【185(④)】	前半 【202(④)】 後半190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	130(④)	130(④) 【0(①)】	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	【0(①)】	130(④) 【0(①)】	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	187(④)	186(④) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	420(③) 【385(③)】	420(③)	430(③) 【278(①)】	425(③) 【278(①)】	425(③)	前半425(③) 【329(①)】 後半430(③) 【329(①)】	430(③)	430(③) 【329(①)】	420(③)	420(③)	420(③)	前半420(③) 後半430(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】
中国四国間連系線 ^{注1)}	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①) 【114(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	225(④) 【225(④)】	227(④) 【227(④)】	232(④)	253(④)	242(④)	前半241(④) 後半233(④)	224(④)	前半232(④) 後半245(④)	255(④)	280(④)	265(④)	前半251(④) 後半236(④)
	九州向	8(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	8(④)	20(④)	23(④)	前半18(④) 後半15(④)	7(④)	前半11(④) 後半12(④)	19(④)	22(④)	15(④)	前半9(④) 後半7(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (2) 2022年度の連系線の運用容量 (平日：夜間帯)

(万kW)

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【30(②)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【30(②)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)	236(④) 【118(①)】	236(④)	236(④)	236(④)	236(④)
	東京向	485(①) 【435(④)】	505(①) 【450(①)】	515(①) 【525(①)】	【540(①)】	525(①) 【560(②)】	510(①) 【410(①)】	500(①) 【435(②)】	490(②) 【320(①)】	【460(②)】	【460(②)】	【460(②)】	530(①) 【445(②)】
東京中部間連系設備	東京向	【180(④)】	210(①) 【150(③)】	210(①) 【180(④)】	210(①)	210(①)	210(①) 【120(④)】	【180(④)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(③)】
	中部向	【180(④)】	210(①) 【180(④)】	210(①) 【180(④)】	210(①)	210(①)	210(①) 【120(④)】	【180(④)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	210(①) 【180(④)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④) 【0(①)】	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④) 【0(①)】	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	90(④)	85(④) 【0(①)】	87(④)	110(④)	111(④)	前半108(④) 後半98(④) 【0(①)】	97(④) 【0(①)】	前半103(④) 後半111(④) 【0(①)】	115(④)	133(④)	129(④)	前半117(④) 後半107(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) 【70(④)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	【70(④)】	70(④) 【70(④)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②)	190(②) 【209(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【210(②)】	【210(②)】	前半 【210(②)】 後半190(②) 【210(②)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) 【0(①)】	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	【0(①)】	70(④) 【0(①)】	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②)	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) 【0(①)】	【0(①)】	前半【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	420(③) 【385(③)】	420(③)	430(③)	425(③) 【329(①)】	425(③)	前半425(③) 後半430(③)	430(③)	430(③) 【329(①)】	420(③)	420(③)	420(③)	前半420(③) 後半430(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】
中国四国間連系線 ^{注1)}	中国向	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(④)】	前半120(①) 【120(④)】 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	199(④) 【199(④)】	195(④) 【195(④)】	195(④)	212(④)	200(④)	前半207(④) 後半197(④)	194(④)	前半201(④) 後半209(④)	217(④)	242(④)	238(④)	前半222(④) 後半208(④)
	九州向	27(④) 【17(④)】	20(④) 【10(④)】	22(④)	31(④)	32(④)	前半32(④) 後半27(④)	28(④)	前半35(④) 後半39(④)	40(④)	43(④)	42(④)	前半36(④) 後半31(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (3) 2022年度の連系線の運用容量 (休日：昼間帯)

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(③)]	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) [118(①)]	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	545(①) [445(②)]	505(②) [445(②)]	555(①)	[590(①)]	575(①) [605(②)]	555(①) [430(①)]	480(②) [380(②)]	460(②) [355(①)]	[475(②)]	[475(②)]	[475(②)]	500(②) [435(②)]
東京中部間連系設備	東京向	[180(①)]	210(①) [150(③)]	210(①) [120(①)]	210(①)	210(①)	210(①) [165(①)]	210(①) [180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[150(③)]
	中部向	[180(①)]	210(①) [180(①)]	210(①) [120(①)]	210(①)	210(①)	210(①) [165(①)]	210(①) [180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	210(①) [180(①)]
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④) [0(①)]	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) [0(①)]	200(④) [0(①)]	200(④) [0(①)]	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	35(④)	36(④) [0(①)]	46(④)	74(④)	82(④)	前半68(④) 後半58(④) [0(①)]	47(④) [0(①)]	前半60(④) 後半64(④) [0(①)]	80(④)	84(④)	72(④)	前半59(④) 後半53(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) [70(④)]	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) [80(④)]	[70(④)]	70(④) [70(④)]	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	140(④)	142(④) [124(④)]	158(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半174(④) [159(④)]	[145(④)]	前半 [162(④)] 後半180(④) [166(④)]	190(②)	190(②)	190(②)	前半174(④) 後半165(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) [0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①) [0(①)]	[0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①) [0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①) [0(①)]	[0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) [0(①)]	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) [0(①)]	[0(①)]	70(④) [0(①)]	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	140(④)	142(④) [0(①)]	158(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半174(④) [0(①)]	[0(①)]	前半[0(①)] 後半180(④) [0(①)]	190(②)	190(②)	190(②)	前半174(④) 後半165(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	420(③) [395(③)]	420(③)	430(③)	425(③)	425(③)	前半425(③) 後半430(③) [395(③)]	430(③)	430(③) [329(①)]	420(③)	420(③)	420(③)	前半420(③) 後半430(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) [70(①)]
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) [70(①)]
中国四国間連系線 ^{注1)}	中国向	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) [120(①)] 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) [106(④)] 後半120(①) [102(④)]
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	181(④) [181(④)]	176(④) [176(④)]	185(④)	209(④)	213(④)	前半206(④) 後半195(④)	185(④)	前半196(④) 後半207(④)	209(④)	221(④)	222(④)	前半211(④) 後半200(④)
	九州向	1(④) [0(④)]	0(④) [0(④)]	1(④)	12(④)	13(④)	前半8(④) 後半7(④)	0(④)	前半5(④) 後半6(④)	9(④)	14(④)	9(④)	前半4(④) 後半1(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (4) 2022年度の連系線の運用容量 (休日：夜間帯)

10

(万kW)

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	
	東北向	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(③)]	90(①)	90(①) [60(①)]	90(①) [60(①)]	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) [118(①)]	236(①)	236(①)	236(①)	
	東京向	530(①) [435(①)]	505(②) [450(①)]	515(①)	[540(①)]	525(①) [560(②)]	510(①) [410(①)]	500(①) [435(②)]	490(②) [320(①)]	[460(②)]	[460(②)]	[460(②)]	[460(②)]	530(①) [445(②)]
東京中部間連系設備	東京向	[180(①)]	210(①) [150(③)]	210(①) [150(③)]	210(①)	210(①)	210(①) [165(①)]	210(①) [180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[150(③)]
	中部向	[180(①)]	210(①) [180(①)]	210(①) [180(①)]	210(①)	210(①)	210(①) [165(①)]	210(①) [180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	[180(①)]	210(①) [180(①)]
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④) [0(①)]	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) [0(①)]	200(④) [0(①)]	200(④) [0(①)]	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	
	関西向	64(④)	58(④) [0(①)]	62(④)	82(④)	82(④)	前半81(④) 後半79(④) [0(①)]	74(④) [0(①)]	前半90(④) 後半100(④) [0(①)]	106(④)	121(④)	119(④)	前半101(④) 後半91(④)	
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) [70(④)]	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) [80(④)]	[70(④)]	70(④) [70(④)]	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)	
	中部・関西向	178(④)	171(④) [164(④)]	176(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) [192(④)]	[187(④)]	前半 [207(④)] 後半190(②) [210(②)]	190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①) [0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①) [0(①)]	[0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	
	中部向	30(①)	30(①) [0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①) [0(①)]	[0(①)]	30(①) [0(①)]	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④) [0(①)]	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) [0(①)]	[0(①)]	70(④) [0(①)]	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)	
	関西向	178(④)	171(④) [0(①)]	176(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②) [0(①)]	[0(①)]	前半[0(①)] 後半190(②) [0(①)]	190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	420(③) [395(③)]	420(③)	430(③)	425(③)	425(③)	前半425(③) 後半430(③)	430(③)	430(③) [329(①)]	420(③)	420(③)	420(③)	420(③)	前半420(③) 後半430(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) [70(①)]
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) [70(①)]
中国四国間連系線 ^{注1)}	中国向	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①) [120(①)]	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) [120(①)] 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	173(④) [173(④)]	166(④) [166(④)]	173(④)	187(④)	186(④)	前半185(④) 後半177(④)	169(④)	前半179(④) 後半191(④)	202(④)	211(④)	218(④)	218(④)	前半204(④) 後半194(④)
	九州向	21(④) [12(④)]	14(④) [6(④)]	16(④)	24(④)	25(④)	前半24(④) 後半24(④)	22(④)	前半29(④) 後半33(④)	37(④)	42(④)	38(④)	38(④)	前半30(④) 後半27(④)

()内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

3. 特殊日の運用容量

2021年度

(万kW)

2022年度

(万kW)

連系線	潮流	断面	GW	盆	年末年始
	方向				
東北東京間連系線	東京向	昼間帯	500(①)	-	-
中部関西間連系線※1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	35(④)	90(④)	55(④)
		夜間帯	54(④)	95(④)	105(④)
北陸フェンス※1	中部・関西向	昼間帯	146(④)	190(②)	165(④)
		夜間帯	166(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線※2	中国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
中国九州間連系線※2	中国向	昼間帯	165(④)	230(④)	185(④)
		夜間帯	158(④)	190(④)	188(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	15(④)	9(④)
		夜間帯	13(④)	28(④)	39(④)

連系線	潮流	断面	GW	盆	年末年始
	方向				
東北東京間連系線	東京向	昼間帯	452(①)	-	-
中部関西間連系線※1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	36(④)	91(④)	56(④)
		夜間帯	55(④)	96(④)	105(④)
北陸フェンス※1	中部・関西向	昼間帯	147(④)	190(②)	166(④)
		夜間帯	166(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線※2	中国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)
中国九州間連系線※2	中国向	昼間帯	172(④)	231(④)	186(④)
		夜間帯	162(④)	191(④)	189(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	16(④)	9(④)
		夜間帯	13(④)	28(④)	39(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。

1) 休日または特殊日明けの夜間帯のうち0:00~8:00は、休日または特殊日の夜間帯の運用容量とする。

2) 連続休日(特殊日以外)または特殊日明けの夜間帯のうち0:00~8:00は、休日または特殊日の夜間帯の運用容量とする。

特殊日として扱う日については、系統情報サービス「2021年度・2022年度連系線運用にかかわる平日・休日カレンダーについて」参照

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照

4. 2023～2030年度の連系線の運用容量（長期）

12
(万kW)

連系線	潮流方向	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) ¹⁾	631(①)	631(①)	631(①)
	東京向	565(②) [460(②)]	565(②) [460(②)]	565(②) [460(②)]	565(②) [460(②)]	565(②) ²⁾ [460(②)]	1028(②) [460(②)]	1028(②) [460(②)]	1028(②) [460(②)]
東京中部間連系設備	東京向	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)
	中部向	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)
中部関西間連系線	中部向	250(④) [200(④)]	250(④) [200(④)]	250(④) [200(④)]	250(④) [200(④)]	250(④) [200(④)]	250(④) [200(④)]	250(④) [200(④)]	250(④) [200(④)]
	関西向	134(④) [35(④)]	134(④) [35(④)]	134(④) [35(④)]	134(④) [35(④)]	134(④) [35(④)]	134(④) [35(④)]	134(④) [35(④)]	134(④) [35(④)]
北陸フェンス	北陸向	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]
	中部・関西向	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線	北陸向	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]	150(④) [70(④)]
	関西向	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]	190(②) [140(④)]
関西中国間連系線	関西向	425(③)	425(③)	425(③)	425(③)	425(③)	425(③)	425(③)	425(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線	中国向	278(①) [162(④)]	278(①) [162(④)]	278(①) [162(④)]	278(①) [162(④)]	278(①) [162(④)]	278(①) [162(④)]	278(①) [162(④)]	278(①) [162(④)]
	九州向	23(④) [0(④)]	23(④) [0(④)]	23(④) [0(④)]	23(④) [0(④)]	23(④) [0(④)]	23(④) [0(④)]	23(④) [0(④)]	23(④) [0(④)]

【 】内の数字は、最大需要時以外など空容量が小さくなると予想される値を示す。（東北東京間（東京向）は、2022年度における最小値を参考記載）

（ ）内の数字は、運用容量決定要因（①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持）を示す。

1) 2027年第二連系線運開後は、631万kW（相馬双葉幹線1回線熱容量相当）になる見込み。

2) 2027年第二連系線運開後は、1028万kW（「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」(2017.2.3策定)に基づく)になる見込み。

5. 全国系統の運用容量（2021年度8月平日昼間帯）

※各エリア内数値は、2021年度送電端最大3日平均電力予想（H3）を表す。

